



今年のオリンピックは過去最高のメダルを獲得しおおいに盛り上がりましたね。一方では夏場に「ゲリラ豪雨」が多かったですが皆様の地域では被害はなかったでしょうか。昨今は地震だけでなく水害や落雷による急な停電などに対する備えも必要ですね。

虫の動きで「ゲリラ豪雨」を察知 積乱雲の発生を予測!?

夏に突然発生する局地的大雨「ゲリラ豪雨」。その兆候をいち早くつかむため気象庁の研究所が虫の大群の動きで積乱雲の発生を予測する取り組みをすすめています。

昨年8月、この研究チームが羽田空港のレーダーで東京湾岸の上昇気流に巻き上げられた虫の大群を捉え動きを追跡したところ群れは海風に流され内陸部に移動し、東京都杉並区周辺の上空約500mで滞留した。約2時間半後に近くで積乱雲が発生し局地的な大雨を降らせた。海から流入した冷たい風とぶつかった暖かい空気が上昇気流となって積乱雲が発生し、大気の状態が不安定だったため急速に発達したとみられる。

レーダーに映った虫の群れは1ミリ程度の「ホソハネコバチ」や小型の「クモ」とみられ、目に見えない空気の流れを把握する手がかりとなった。気象庁によると積乱雲は数キロから十数キロの大きさに発達するまでレーダーで観測できないため、防災目的として雨の降り出しに間に合わないことが多く、虫の動きに着目した今回の手法は晴れている状態で兆候をつかめるメリットがある。実用化はまだまだ先だが意外な虫たちの行動に期待したい。



蜂

夏も終わり涼しくすごしやすくなりました。これから秋にかけてハチ達が活発に行動し、とても凶暴になる季節です。被害を受けないために種類・生態・性質を知っておきましょう

アシナガバチ

日本で最も普通に見られます。比較のおとなしい性格で攻撃的性質は持ち合わせていないため、こちらの不注意で蜂や巣に危害を加えないかぎり刺すことはありません



ハチに刺されないために...

- * 黒や青の衣類を身につけない。(ハチは黒色を攻撃色と判断します)
- * 巣やハチに遭遇しても、あせって急に動かない。ゆっくりと後ずさりしながら、その場を離れる
- * 香水や化粧品をつけない (ハチは匂いに敏感です)

万が一、ハチに刺されたら...

- * ミツバチの場合、皮膚に残った毒針から仲間を刺激する物質が周囲に撒き散らされ、多数のミツバチに襲われる危険性があるので速やかに巣から離れる
- * 刺された場所を確認して、皮膚に針が残っている時は指でつまんで取り除く
- * 爪で圧迫して毒を絞り出し、患部を水で洗い流し冷やす
- * ステロイド軟膏があれば塗布し安静にする

スズメバチ

縄張り意識が強く攻撃的で「カチカチ」と音を鳴らして威嚇します。巣に近づいただけで刺される事もあるので注意が必要です



ミツバチ

比較的穏やかで、刺激を与えない限り攻撃してきませんが、寒冷地では攻撃性が強く、巣に近寄り、振動を与えたりすると集団で反撃してくるので注意が必要です



出来る限りの応急処置をし、出来るだけ早急に搬送できるよう道路に近い所で休んで下さい

クマバチ

大形で刺針があるため恐れられますが、攻撃性は弱くつかんだりしなければ刺される事はありません



●アナフィラキシーショックについて

ハチに刺された時、直接ハチ毒によって死ぬことはありませんが、ハチに何度か刺されると、このハチ毒に対するアレルギー反応を起こします。これがアナフィラキシーショック(毒によるアレルギー反応)です。すべての人におこるわけではなく、刺された人のおよそ10%と推定されています。刺されたところ以外にかゆみが広がる、息切れがする、喘鳴がある、冷や汗が出る、意識が遠のくなどの症状があらわれたら病院に直行してください。発症すると進行が早いため、大群に襲われた場合は様子を見てからではなく、すぐに病院の診察を受けて下さい。



～住まいの健康管理～

冬に向けて少しずつお住まいの手入れをしていきましょう
こまめにチェックしておくといざという時に安心です



	季節ごとのポイント		『二十四節気』をご紹介	
7月 (文月)	《暑さ対策》 昔ながらの「すだれ」や「よしず」で日差しをカット 来年は「グリーンカーテン」でゴーヤやヘチマを育ててみては？ グリーンカーテンの内側の温度は外側より2～3℃も低く日差しを遮断し涼しい ようです。野菜の収穫もでき一石二鳥 ゴキブリなど害虫も増えます。水周りや、冷蔵庫下などこまめに掃除しましょう		<small>しゅうしょ</small> 小暑 (7/7 頃)	梅雨明けが近く 蝉が鳴き始める
			<small>たいしょ</small> 大暑 (7/23 頃)	一年で最も暑い時期 夏の土用の時期
8月 (葉月)	《ゲリラ豪雨》 地域の水害予測情報を確認しておきましょう(各自治体のホームページ などで降水量や近くの河川の氾濫予測状況などの情報を確認できます) 夏の終わり頃に入道雲(積乱雲)が発生すると要注意です		<small>りっしゅう</small> 立秋 (8/8 頃)	秋の気配を感じ始める 時期
			<small>しゅうしょ</small> 処暑 (8/23 頃)	暑さが落ち着く頃
9月 (長月)	《台風》 雨戸・雨樋、屋根(雨漏り)の傷みがないか確認しておきましょう 家の周辺の植木鉢やすだれなど強風で飛ばされそうなものがないか確認 《スズメバチなど》 活動が活発になります 見つけたらすぐご連絡を！		<small>はくろ</small> 白露 (9/8 頃)	露が宿る頃 稲刈りが始まる
			<small>しゅうぶん</small> 秋分 (9/23 頃)	空気が冷たくなる頃 昼夜の長さがほぼ同じ
10月 (神無月)	《冷房器具のお手入れと暖房器具の準備》 エアコンフィルターの掃除 冬場にも使われる方も多いと思います。フィルターのホコリを掃除するだけでも節電 効果があります。扇風機も意外にホコリが付いていますよ		<small>かんろ</small> 寒露 (10/9 頃)	秋の到来 収穫の時期
			<small>そうこう</small> 霜降 (10/24 頃)	霜が降り始める 紅葉がピーク
11月 (霜月)	《落葉の掃除、家の周りの燃えやすいものを片付け》 《暖房器具の点検》 空気が乾燥してきます。ストーブ、こたつなど火の元に注意しましょう 家具に隠れているコンセントの周りのほこりも掃除しましょう		<small>りっとう</small> 立冬 (11/8 頃)	日が短くなり冬の 気配を感じ始める
			<small>しゅうせつ</small> 小雪 (11/23 頃)	木々は落葉し陽光が 弱まる
12月 (師走)	《大掃除》 換気扇、コンロ周り、水周りの日頃のたまった汚れを一掃しましょう 非常持ち出し袋の中身(特に食品や水の賞味期限切れやラジオ、 懐中電灯の電池切れなど)も再確認しておくといざという時に安心です		<small>たいせつ</small> 大雪 (12/7 頃)	氷がで始める時期
			<small>とうじ</small> 冬至 (12/22 頃)	寒さが更に厳しくなる 一年で最も夜が長い



セアカゴケグモに気をつけて!!

外来種のクモで各地で夏場に多く発見されていますが、涼しくなっても油断してはいけません。最近では比較的暖かい場所の側溝のふたの裏や植木鉢のかげ、室外機の裏などに巣を作っていることがあります。作業される時は軍手をはめることをおすすめします。強い毒を持っており咬まれると危険です。万が一、咬まれたら水でよく洗いすぐに病院を受診してください。発見したら決して触らず市役所や保健所、ハウズドクターまでご連絡下さい。



排水口のヌメリ防止

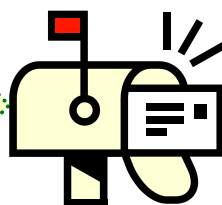
アルミホイルを小さく丸めたものを2、3個ゴミ受けに置くだけです。定期的に変換してください



インフルエンザ予防に
手洗い・うがいしましょう

お客様の声をお聞かせ下さい！

お家の害虫駆除、耐震、リフォーム、防犯対策などで
お知りになりたいこと、お困りのことはありませんか？
また「ほのぼの通信」のご感想やご意見などありましたら
ハガキ(切手不要)にご記入の上お送り下さい！



【発行】「やっぱり我が家が一番」を応援します！

株式会社 **ハウズドクター**

大阪府茨木市沢良宜浜 2-17-14

0120-364-644 072-634-4412

HP <http://www.housedoctor.co.jp>